

# 令和5年度 学生プロジェクト 公募要領

## 1. 目的

本事業は、課題探求とその解決能力を涵養し、工学基礎力と共に、コミュニケーション能力、及び幅広い教養を身に付け、企業や社会において先導的リーダーシップを発揮することのできる創造的人材の育成を目的とする。

## 2. プロジェクト

### (1) 創造学習プロジェクト

既に活動実績があり、「5. 公募の対象となる活動」の①～⑥を行う団体の中から優れたものに対し、明専会及び協賛企業の協力により、支援する。

### (2) 産学連携プロジェクト

活動実績の有無を問わず、「5. 公募の対象となる活動」の⑦⑧に該当する団体の中から優れたものに対し、協賛企業の協力により、支援する。

### (3) 夢チャレンジプロジェクト

将来的に創造学習プロジェクトの一つの活動となるよう発展が見込まれる「5. 公募の対象となる活動」の①～⑥に該当する団体に対し、新規プロジェクトのスタートアップを支援する。

## 3. 応募資格

学生の自主的な応募とし、工学部、情報工学部、工学府、情報工学府及び生命体工学研究科に在籍する学生グループで必ず指導教員が配置されていることとする。

なお、学生グループは、複数の学部・学科、研究室等の学生5名以上で構成されていることを要件とし、複数の学年の学生10名以上で構成されることが望ましい。

参加する学生は、1つのプロジェクトのみに参加することが望ましい。

他のプロジェクトのグループと重複して参加する場合には、参加するいずれか1つのプロジェクトにのみ名前を記載すること。

## 4. 支援対象期間

2023年4月1日～2024年3月31日

## 5. 公募の対象となる活動

以下の課外活動に取り組む学生団体を公募対象とする。

ただし、修士論文及び卒業研究並びに正規の授業等に関連して実施するものは除く。

- ① ハードものづくり系活動
- ② ソフトものづくり系活動
- ③ 工学基礎力を活かしたボランティア・地域連携諸活動等
- ④ 工学基礎力を活かした調査活動（科学技術や1～3の活動のための予備調査等）
- ⑤ アントレプレナーに関する諸活動等
- ⑥ その他の創造学習活動

⑦ メカトロニクスものづくり活動

⑧ 情報通信技術[ICT]活用に関する活動

※令和4年度までと異なり、工学基礎力を活かした活動であること。

## 6. 支援額、採択件数

### (1) 創造学習プロジェクト

支援額は総額1,750万円程度、採択件数は15～20件程度とする。

ただし、助成金の限度額は、1団体200万円とする。

### (2) 産学連携プロジェクト

#### ①安川電機PJ

支援額は総額200万円、採択件数は原則1件とする。

なお、このプロジェクトに採択された団体の活動の成果物については、「安川電機みらい館」に展示する場合がある。

#### ②QTnetPJ

支援額は総額100万円を上限とし、採択件数は1件程度とする。

### (3) 夢チャレンジプロジェクト

将来的に創造学習プロジェクトへの発展が見込まれる新規プロジェクトのスタートアップ支援として、萌芽的な取組を行う団体に対し、総額150万円を支援し、採択件数は5件程度とする。

ただし、助成金の限度額は、1団体30万円とする。

(4) 支援総額及び採択件数は、予算の都合により、変更する場合がある。

(5) 活動に必要なと認められる経費は、物品費（消耗品を含む。）、旅費、通信・運搬費、謝金等とする。

※経費に占める旅費は、支援総額の1/2を超えてはならない。

(6) 同一プロジェクトで(1)、(2)及び(3)に重複して応募することは認めない。

(7) (1)で応募したプロジェクトであっても、審査の結果によっては(2)または(3)で採択することがある。同様に、(2)で応募したプロジェクトも、審査の結果によっては(1)または(3)で採択することがある。

(8) 応募した活動が採択された場合は、指導教員の予算コードに助成金を振替える。

## 7. 特別賞

### (1) 千鳥屋本家賞

創造学習プロジェクトとして採択する団体の中から、株式会社千鳥屋本家から協力を得て千鳥屋本家賞として、追加的支援を行う。なお、千鳥屋本家賞による追加的支援を合わせた支援総額の上限は、1団体200万円とする。

また、千鳥屋本家賞の選考については、千鳥屋本家によるところとする。

## 8. 支援設備等

応募した活動が採択された場合は、学内の設備を利用することができる。利用する関係学科等と事前（申請前）に協議しておくこと。

## 9. 応募方法と採択までのスケジュール

### (1) 応募書類と提出方法

応募にあたっては、申請データを書類提出先に提出してください。

※名簿は、エクセルの電子媒体で提出してください。

二次審査に進んだ団体は、ヒアリング資料を書類提出先に提出してください。

※いずれの資料も電子媒体で提出してください。

なお、ヒアリング資料はPowerPointで作成し、5分程度で簡潔に説明できるように準備すること。また、ヒアリングの持ち時間は、1団体10分程度（プレゼン5分、質疑応答5分）とする。

【申請書】<http://www.kyutech.ac.jp/campuslife/project.html>

### (2) ヒアリングの評価項目

二次審査（ヒアリング）における評価項目は、次に掲げる7項目とし、それぞれ5段階評価で審査を行う。

なお、産学連携プロジェクトの安川電機PJにおいては、8項目目についても評価指標とする。

- ① 募集の趣旨 : 申請内容が本プロジェクト募集の趣旨に合致しているか。
- ② 申請内容の計画性 : 予算を含め、申請書の計画は無理なく、妥当か。
- ③ 創造性・成長性 : 申請内容が創造的で、今後も発展していくか。
- ④ 取組みの実現可能性 : 申請内容を推進していく組織体制が整い、ミッション達成（成果）が見込めるか。
- ⑤ 貢献度 : 本学等に対する貢献度
- ⑥ 前年度の実績 : 前年度の実績（成果）の達成度（※継続申請団体が対象）
- ⑦ プレゼン力 : プレゼンテーションが効果的であるか。
- ⑧ 将来の実用性 : 将来市場での活用が期待できるか。（※安川電機プロジェクトに申請する団体のみ対象）

### (3) 採択までのスケジュール

- ① 公募締め切り 2023年3月10日（金） 期日厳守
- ② 一次審査（書類選考） 2023年4月中旬予定
- ③ 一次審査結果通知 2023年4月下旬予定
- ④ 二次審査（ヒアリング） 2023年5月中旬予定
- ⑤ 採択発表 2023年6月中旬予定

※一次審査を通過した団体は、二次審査としてヒアリングを行うので必ず出席すること。

※公募の結果により、予算の範囲内で第2次公募を実施する場合があります。

## 10. 報告書及び学修自己評価への入力

### (1) 報告書

応募した活動が採択された場合は、2024年2月末までに報告書（計画中途の場合は、中間報告書）を窓口に提出する。

【報告書ダウンロード】<http://www.kyutech.ac.jp/campuslife/project.html>

なお、助成金の使途について、報告書を基に監査を実施する。

### (2) 学修自己評価

学生プロジェクトに取り組む学部生は、教務情報システム『LiveCampus』の「学習教育支援」にある「学修自己評価システム」から学修自己評価を2024年2月末までに入力する。

## 11. 報告会の実施

応募した活動が採択された団体は、当該年度末に実施する成果発表会に出席しなければならない。  
また、個々の活動や学生プロジェクト全体を広報する機会等、イベントがあった場合、可能な限り協力すること。

## 12. 留意事項

- ・クラウドファンディングについて  
可能な限り、クラウドファンディングの申請を検討し、積極的に活用すること。

## 13. 問合せ先と書類提出先

### 【問合せ先】

学生生活・健康支援課学生生活支援係      Mail : [gak-gakshien@jimu.kyutech.ac.jp](mailto:gak-gakshien@jimu.kyutech.ac.jp)

### 【書類提出先】

工学部 工学府	工学研究院事務課学生係	<a href="mailto:koh-gakusei@jimu.kyutech.ac.jp">koh-gakusei@jimu.kyutech.ac.jp</a>
情報工学部 情報工学府	情報工学研究院教務学生支援課学生係	<a href="mailto:jho-gakusei@jimu.kyutech.ac.jp">jho-gakusei@jimu.kyutech.ac.jp</a>
生命体工学研究科	生命体工学研究科事務課学生・留学生係	<a href="mailto:sei-gakusei@jimu.kyutech.ac.jp">sei-gakusei@jimu.kyutech.ac.jp</a>

### 【クラウドファンディングに関する問合せ先】

ソーシャルコミュニケーション課      Mail : [sou-renkei@jimu.kyutech.ac.jp](mailto:sou-renkei@jimu.kyutech.ac.jp)